

Hop Step Jump

9

初任者研修第9回

中学校 授業づくり⑤

アンケートの感想から

大阪教育大学附属池田中学校の協力により、第9回の中学校の授業づくり研修が10月7日に行われました。実際の授業を見学しての研究協議です。授業づくりの難しさや奥の深さをみんなで共有できたでしょうか。

自分自身1年生を見ているところなので、中学3年生になったときどのような姿をみせてくれるのだろうと思いました。まだまだグループワークや話し合いなど下手な時期ですが、もっとこちらから働きかけていかなければいけないなあと感じました。一人ひとりが責任のある役割を与えることが大切なのだと実感しました。

自分の目の前にいる公立学校の生徒たちにはプレゼンは無理？グループワークは必要ない？そんなことはないですね。そこを目標とするなら、そのためにどのような道筋を考え、どう向かっていくのかをデザインすること。それこそ授業づくりであるはずです。初めてなら下手で当たり前、だからこそその授業です。ただこの授業ではプレゼンの方法を学ぶこと自体が主たる目的ではなく、教科の目標に近づくための手段であったことにも注目しておく必要があるかと思います。目的と手段の関係は明確に意識する必要があります。いずれにせよ、自分の授業で生徒が成長するのはです。先生の大変重い責任のある役割です。次の先生も大切なことに気が付いてくれたようです。

授業に対する意識の差を感じました。1つの授業で何を目的として構成するのかという意識がはっきりしていたので、生徒も理解しやすかったと思います。また、授業での課題や問題に対しての生徒の姿勢も整っていたので普通の授業での取り組みがとても大事だと思いました。今回のことを活かして授業にとりくみたいと思います。ありがとうございました。

授業者自身が授業の目的をしっかりと持ち、そして、その目的を生徒と共有すること、そうすることで授業はシンプルに、そして、わかりやすくなります。

夏の研修で学んだことを活かして、こんな仲間も…

ありがとうございました。特に、スローラーナーのためのスモールステップの踏み方や、個別指導のあり方について、特に勉強になりました。夏に模擬授業を見せていただいてから、授業を根本から見直し、少しずつですが自分にもゆとりが持ててきました。本日も大変勉強になりました。ありがとうございました。

根本から見直すだけでなく、ゆとりまで生み出してしまったなんて、その実践こそ交流したいものです。次の先生も、やってくれそうです。絶対に…。

ありがとうございました。教材の工夫を学ぶことができました。図形(2年)はこれからのスタートなので、ボードを手作りしたいと思います。絶対作ります。個人の考える時間をゆっくり設けられる心のヨユウを持ちたいと思います。

今回の研修では、夏の授業づくり研修と同じように、2～3年目の先生も参加してくれました。

2年目で、教材研究や研修にはいろいろと足を運んでいるのですが、実際に他の中学校の授業を見ての研修はなかなか1人ではできないことなので今回とてもいい機会になりました。自分の中学校に学びを持ち帰ってまた毎日楽しく授業をしたいと思います。

改めて、『もっと授業が見たい』という意欲あふれる先生のためにお知らせです。附属池田小、中、高が共同しての研究発表会が11月22日(土)に開催されます。また、中学校道徳でお世話になった附属天王寺中の吉田先生も11月8日(土)に教育研究会で道徳の授業を公開されます。資料は「いつものバイオリン」です。申し込みはホームページから。要チェックです。また、豊能地区では公開授業研究会が行われている学校も多数あり、相互交流研修としても開かれています。そろそろ日程、内容共に正式に決まっている頃、各学校にも案内が来ているのではないかと思います。